

# 酪農地域から見出す 浜中町の観光資源

北海道教育大学 釧路校

地域社会と環境研究室

堤内 賢太

内柴 保万理

富樫 英孝

澤出 結衣

長澤 遼太郎



# 本研究の趣旨

- 本研究室は浜中町をはじめとする道東地域を研究の対象としており、研究室活動として浜中町に足を運び、聞き取り調査をしていく中で浜中町に興味を持ち酪農地域が持つ魅力に気が付いた。
- 調査の中で浜中町は通過点になっていて、長期滞在者が少ないことに気が付いた。
- 本研究では浜中町の魅力を発信し、観光客の呼び込みから移住の促進につながるようなイベントやツアーの企画について考えていきたいと思う。

# 調査の目的と方法

## ①浜中町の現在までの取り組み

- ・聞き取り調査(4回)  
(研修牧場、JA、浜中町内の酪農家訪問)

## ②浜中町の魅力と課題

- ・民泊調査(3泊4日)
- ・グリーンツーリズム研究会主催のキャンドルナイトへの参加
- ・霧多布湿原散策

## ③課題解決に向けた提案

- ・民泊ツアーによる魅力の発信

# 目次

- I 浜中町の概要と現状
- II 課題
  - 人口減少
  - 通過点から着地点へ
- III 調査報告
- IV 提言
  - ツアー、イベント企画
- V 今後の課題と展望
- VI 参考文献、謝辞

# 今日の日本の現状

○今日、日本では田舎暮らしが注目されてきている。

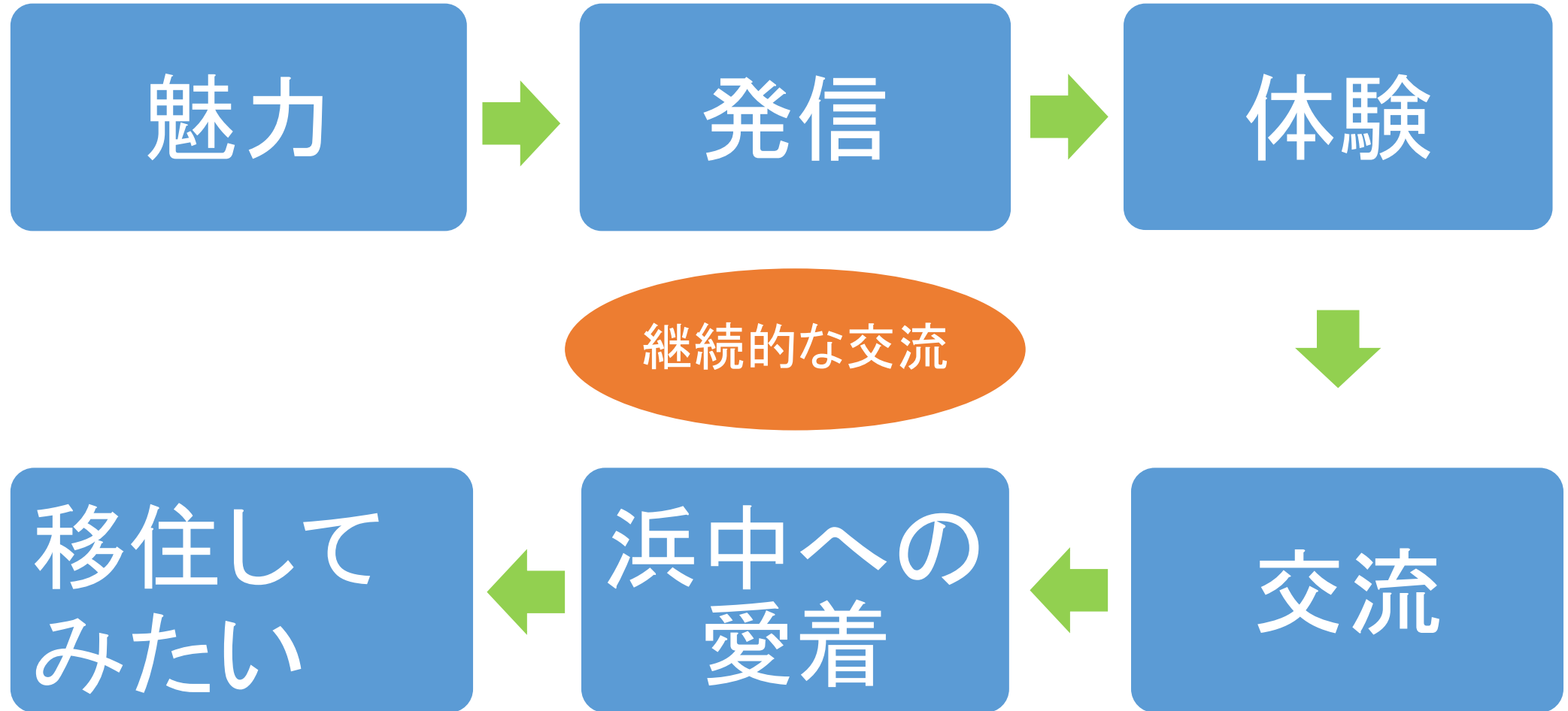
○地産地消をベースとした豊かな生活ができるから。

▪ 田舎には都会にはない価値のある資源

①耕作放棄地、②立木、③規格外の農産品、④退職者、⑤野獣 ...

▪ 浜中町には豊かな自然、第一次産業があり、それを活かした地域活性化の取り組みができる可能性がある。

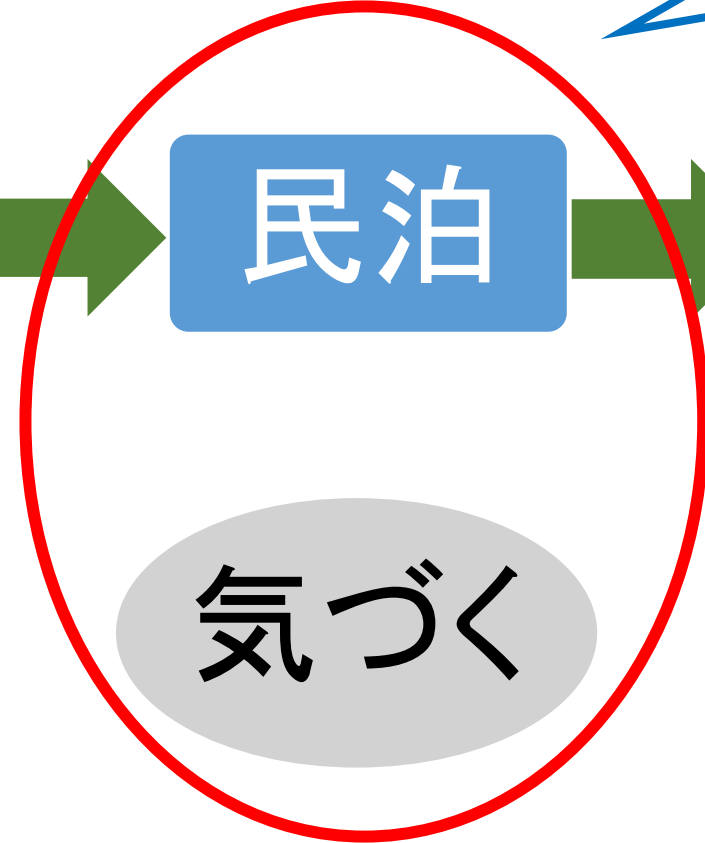
# 移住へのステップ



物産展

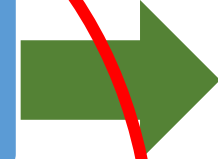
イベント参加

知る



民泊

気づく



移住

理想

魅力に気付いてもらう  
段階を主に研究した

# 浜中町の概要

- 北海道浜中町
- 面積 423.44km<sup>2</sup>
- 人口 6,189人
- 主要観光地 霧多布湿原(ラムサール条約登録湿地)
- 主産業
  - ・農業～乳牛の飼育をはじめとする酪農(タカナシ乳業)  
農地15,000ha、乳牛約23,000頭、生乳生産量99,000t
  - ・漁業～昆布、サケ、マス、ウニ、ホッキなど

北海道東部、釧路市と根室市のほぼ真ん中に位置し、農業と漁業が基幹産業である。



# 浜中町の概要

- 町の中央をJR花咲線と国道44号線が並行して東西に走り、鉄道を境に南部は牧草地から森林や湿原、海岸へと続き、北部はほぼ全域が酪農地帯で見晴らしの良い牧草地が広がっている。
- 夏はこのあたり特有の「海霧」が発生することも多く、気温は25度を超えるのは数えるくらいである。一方、冬は乾燥した晴れた日が多く気温はマイナス15度以下にまで下がる。
- ラムサール条約登録湿地で国内3番目の広さを持つ「霧多布湿原」や風光明媚な「きりたっぷ岬」などの自然に恵まれ毎年多くの観光客が訪れている。
- 新規就農を目的に道外からの移住者が多い  
浜中町の酪農家183件のうち36件が新規就農

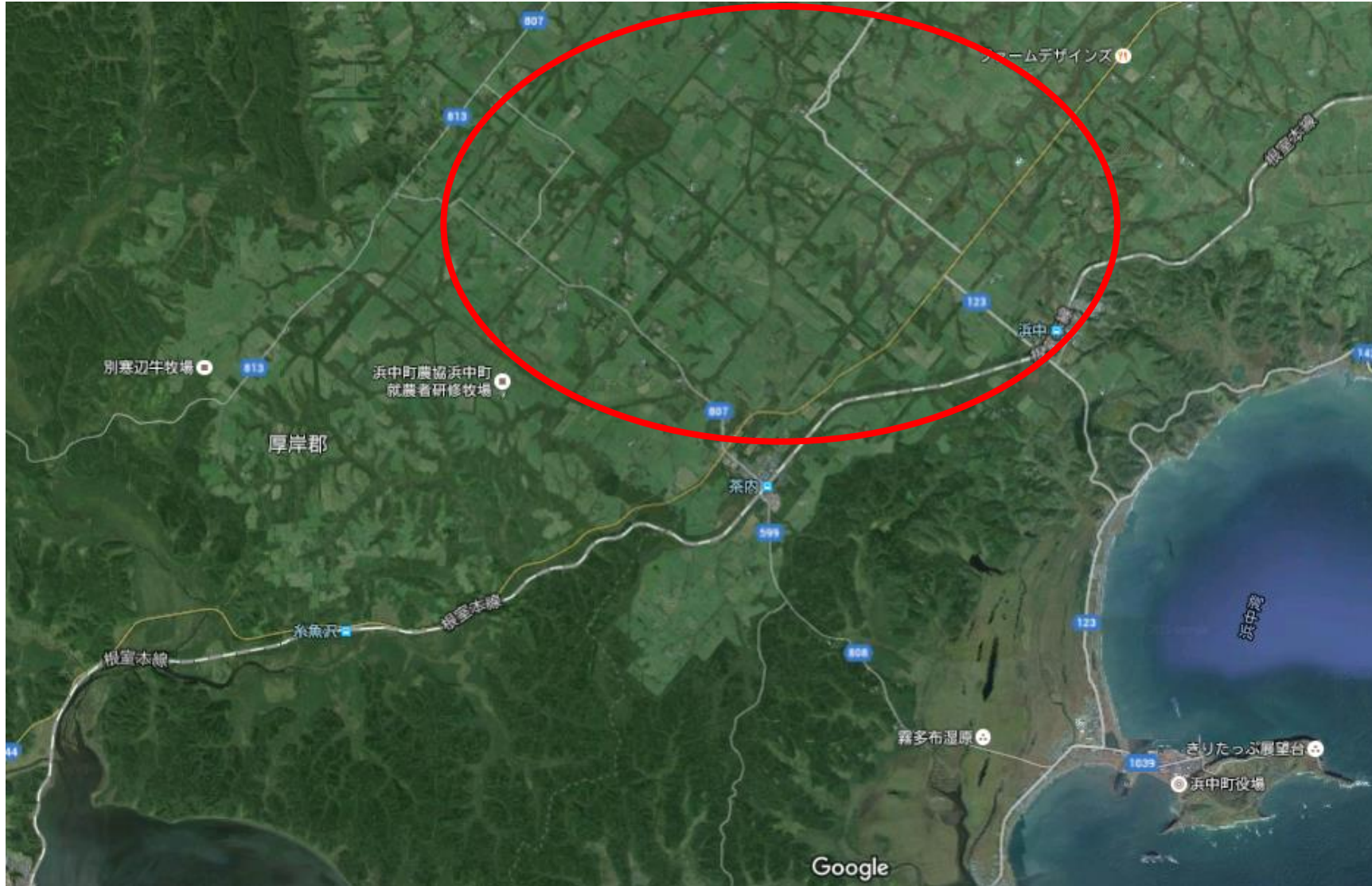
# 浜中町の地図



引用 浜中町商工会HP

[http://shoko.hamanaka-net.jp/what\\_is/access.html](http://shoko.hamanaka-net.jp/what_is/access.html)

# 浜中町の地図

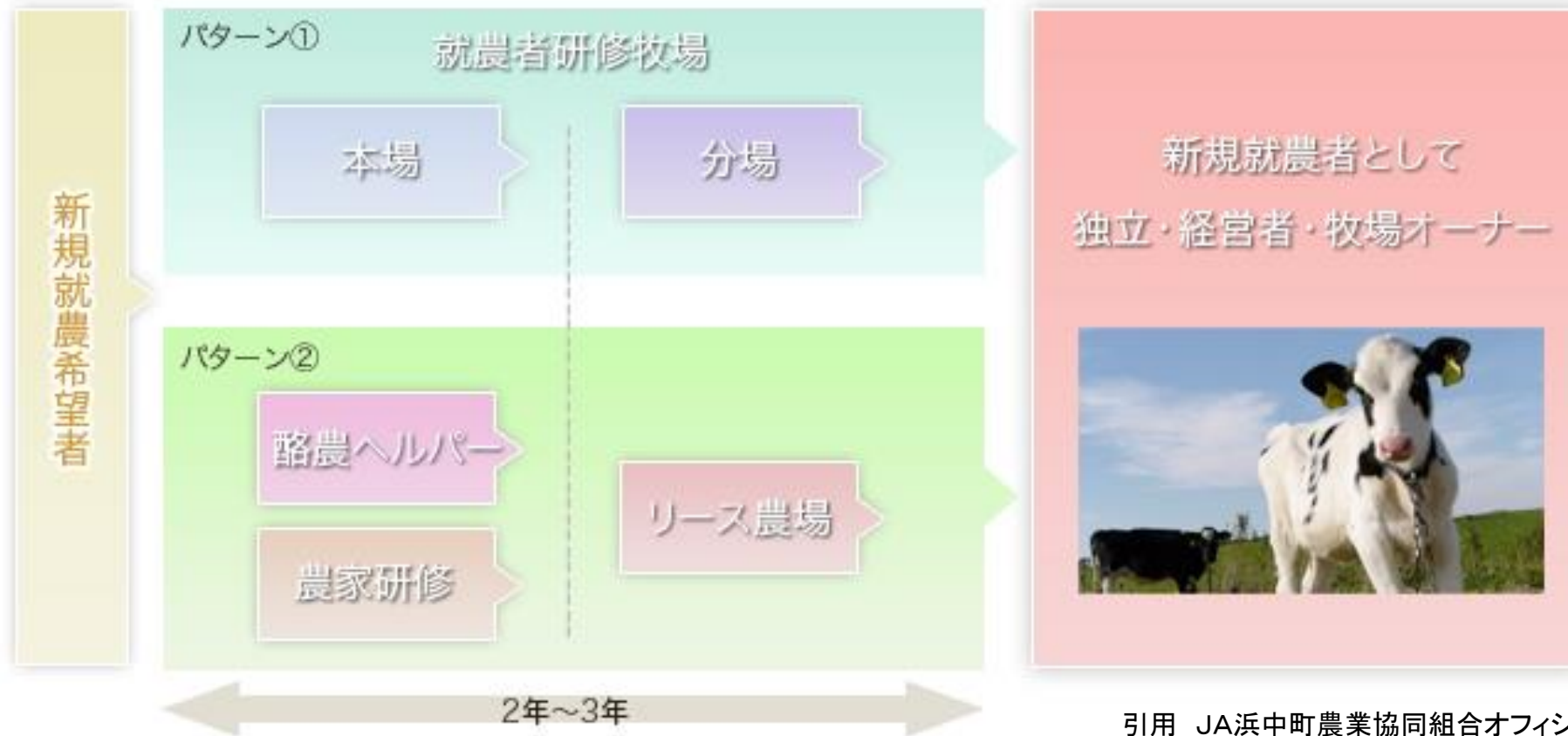


# 浜中町の課題

# 浜中町の酪農地帯の現状

- 経営者の高齢化や後継者不足により農家戸数は一時減少したが、新規就農の支援システムの充実化を図り、新規就農者を経済的に支援したり育成のための研修牧場を設立したりと総合的にバックアップするシステムが作られている。
- 現在では新規就農の事業が成功し、空き農家待ちになるほどになっている。
- 酪農家主催のグリーンツーリズムも当初よりは回数は減っているのが現状である。

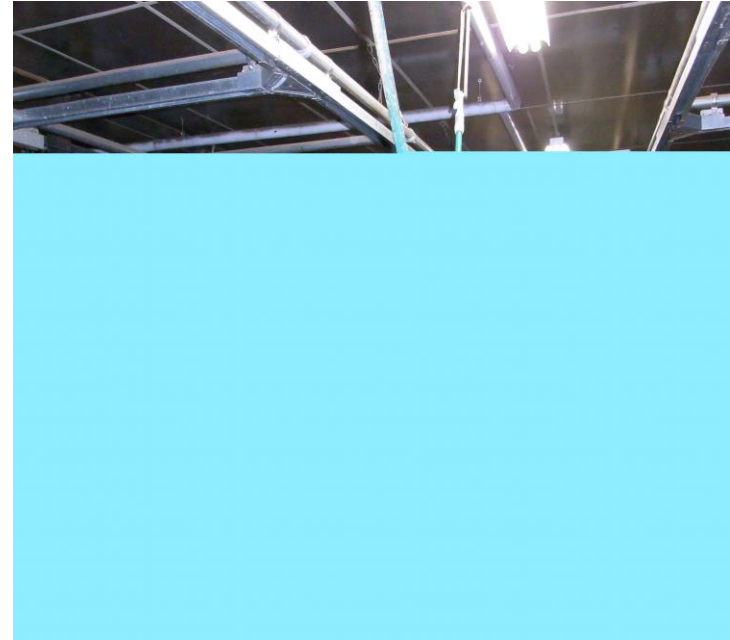
# 新規就農までの流れ



引用 JA浜中町農業協同組合オフィシャルサイト  
[www.ja-hamanaka.or.jp](http://www.ja-hamanaka.or.jp)

# 研修牧場のできた流れ

- 昭和30年代 高度経済成長期  
浜中町の酪農家数ピーク(約700戸)
- 昭和40～50年代 酪農の機械化が進む  
→ 相対的に生産率が落ちた酪農  
家が離農(S59 約250戸)



## 研修牧場のできた流れ②

- ・当初、空いた牧場につてで酪農経験者を確保
  - 人材確保の限界
  - 酪農家育成の必要性

現在(H25.12)までに36組が就農  
町内の酪農家の2割に上る。



# 浜中町における新規就農者支援

雇用:(有)浜中町農業研修牧場従業員

給与:夫婦で月額25万(年額300万)

単身者で月額15万(年額180万)

福利厚生:健康保険、雇用保険、労災保険

厚生年金加入

# 浜中町の課題

- 人口減少

酪農地域

新規就農者(移住者)が多く減少傾向にはない

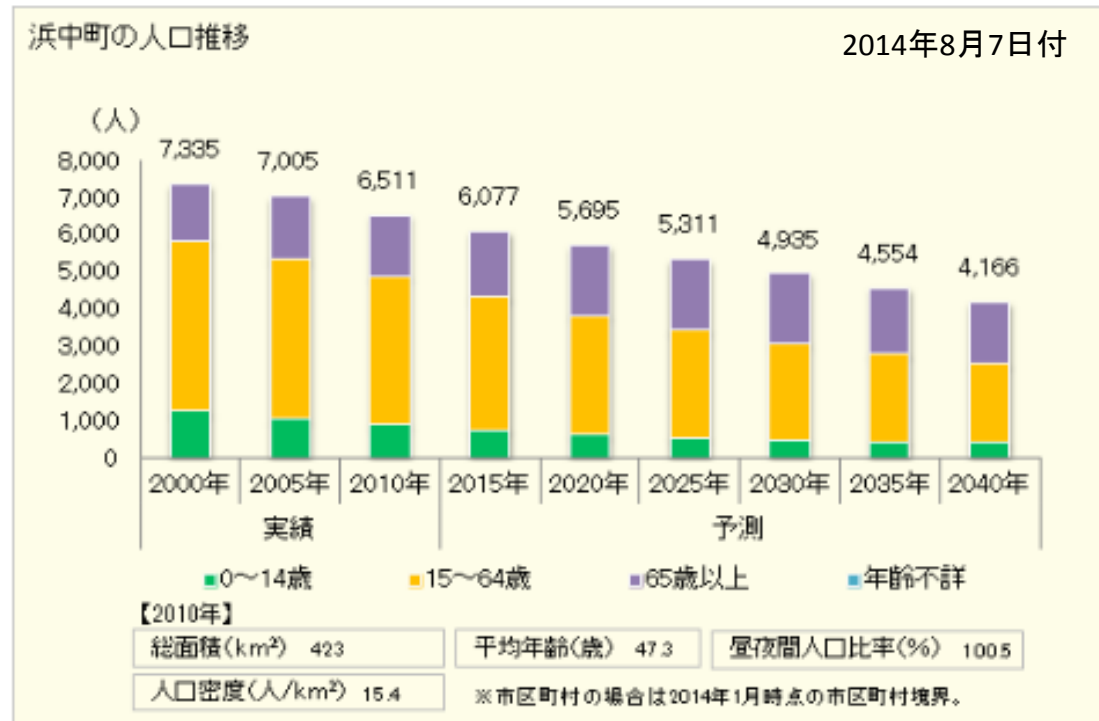
漁業地域

高齢化により減少傾向にある



日本

浜中町(ハカカヲイ 北海道)の人口と世帯 《人口推移》



【出所】総務省 国勢調査及び国立社会保障・人口問題研究所 将来推計人口

# 観光活性化の課題

- **短い滞在時間**

イベントで町外から人は呼び込めるものの、日帰りで滞在時間が短く、浜中の魅力を深く知ってもらえる機会が少ないことや、道の駅等の立ち寄れる場所もなく釧路～根室間の通過点になっている。

- **PR不足**

高品質の牛乳を生産しているが、酪農業のことが外に発信されていない。

# 調査活動～民泊調査～

## 目的

- ・酪農家の普段の生活を実際に体験し、観光につながる資源を見出す。
- ・ツアーを企画するにあたって、酪農家さんと私たちの信頼関係を築いておく。
- ・酪農家さんが余暇を利用して行っているアクティビティも観光資源として取り入れることができないか検討する。

# 酪農家の暮らしの例

- 3:30 起床
- 4:00 餌やり、搾乳、  
牛を外に出す、牛舎の掃除
- 8:00 朝食、自由時間
- 15:30 牛を牛舎に入れる、  
餌やり、搾乳
- 19:30 夕食
- 21:30 就寝



# 民泊体験

- 3泊4日
- 浜中町の酪農家さんの家に宿泊

## ○内容

- 酪農体験
- スノーモービル
- 歩くスキー
- キャンドルナイト参加
- お食事会
- 振り返り



# 調査報告～聞き取り調査～

Sさん

埼玉県出身、元サラリーマン、写真が趣味

- 元々牛の写真撮ることが好きだった。
- 新規の人で集まる研修牧場がある。
- 研修生同士のつながりがある。
- 農業人フェアで浜中を知りました。



# 調査報告



Kさん夫妻  
神奈川県出身、元パン屋さん

- ・前職のパン屋さんでタカナシ乳業の牛乳を使っていました。
- ・乳製品のおいしさを浜中町の人に十分に知られていない。



# 調査報告



## 浜中町の酪農の先駆者Nさん

- ・浜中町の良さ、面白さを子どもたちに伝えたい。
- ・酪農をしながら浜中を活性化したい。
- ・浜中グリーン・ツーリズム研究会でイベントを企画して活動している。

# 調査報告

○酪農家さんたちの聞き取り調査を通して

- 新規就農者に対する理解があり、金銭面で様々な支援があることや受け入れに慣れている。
- 廃校施設の有効利用(カフェや道の駅)。
- Webページを活発化させPRを手厚くしていく。
- 兼業農家が増えている。

# 調査報告

○JAの聞き取り調査を通して

JA浜中町参事

- ・新規就農者の存在は、地域の住民への刺激になる

- ・浜中の課題

→財政面、観光資源の発信力

# 調査結果から見出した課題

- イベント等で他地域から人は訪れるものの、日帰りをする人がほとんどである
- 浜中町の魅力を他地域に十分に発信することができていない
  - 牛乳の宣伝
  - 浜中に呼び込みたいターゲットを絞り込むことができていない
  - ツアー、イベントの企画が少ない

## 地域住民から見る浜中町の魅力

○住民同士のつながりが強い。

冠婚葬祭を地域の人みんなで行う。

みんなの顔が見える。

酪農家同士助け合って作業をしている。

○豊かな自然。

遊べる施設はあまりないが、遊べる自然がたくさんある。

(カヌー、スノーモービルなど)

海と山の両方がある。

## 地域住民から見る浜中町の酪農の魅力

- 浜中町はいち早く新規就農者の受け入れを始めたため、新規就農者受け入れのシステムが整っている。
- 酪農家同士のつながりが強いため、助け合って作業ができる。
- 生産した牛乳は全て買い取ってもらえる。
- 高い意欲を持った、新規就農者が多いため、既存の酪農家さんたちがいい意味で刺激を受けている。

# 発信

酪農地としての  
の魅力

人との関わり

体験

食

浜中の魅力や良さを発信

移住してみたいくなるツアーを提言

発信

# 夏の民泊体験ツアー

日程 : 8月初旬～9月中旬

泊数 : 2泊3日

募集人員 : 10人程度

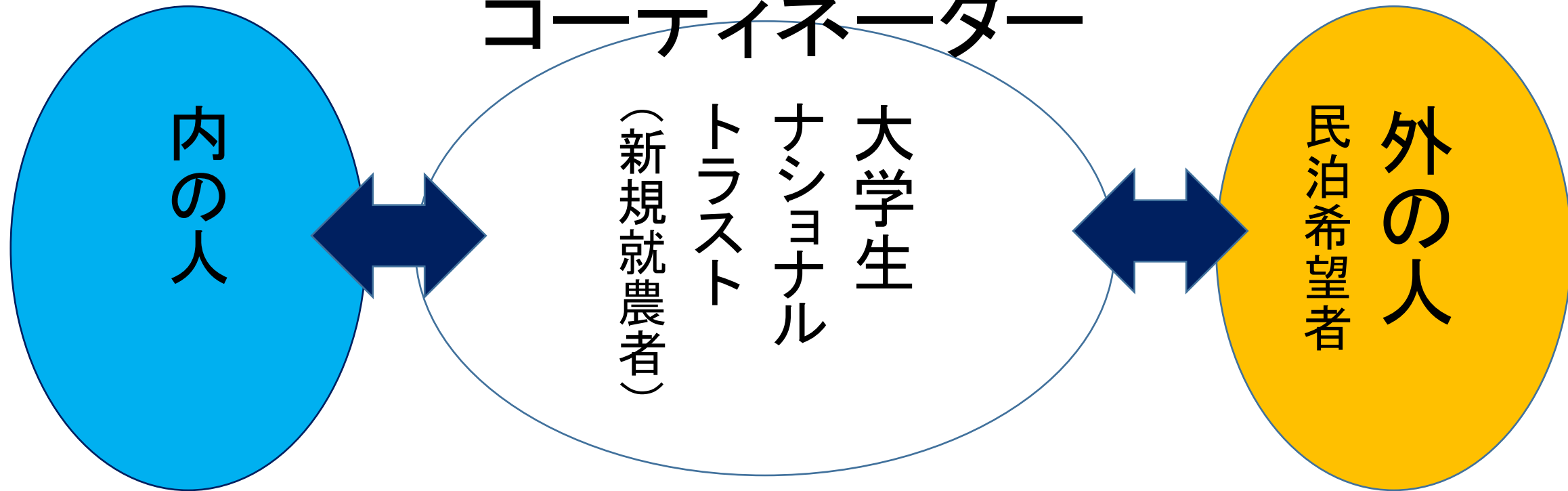
ターゲット : 20歳以上の北海道在住の方  
浜中町での暮らしに興味のある方

コーディネーター : 大学生(本研究室員)  
ナショナルトラスト



# 民泊ツアーにおけるコーディネーターの役割

## コーディネーター



## 夏の民泊ツアー内容

### ・一日目

- ・昼頃に浜中町に到着
- ・湿原センターに行き霧多布湿原の散策
- ・民泊先の酪農家さんたちとの対面式  
(→それぞれの宿へ)
- ・酪農体験(搾乳など)
- ・民泊先で食事をとる



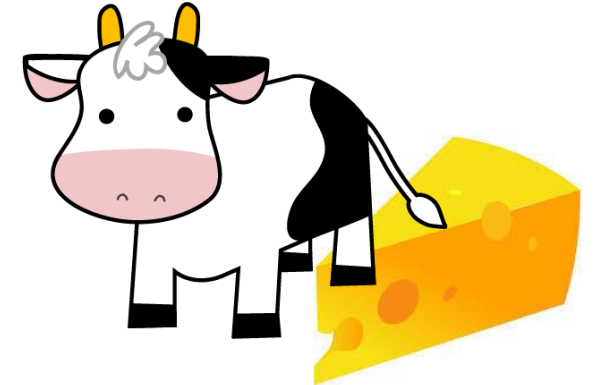
### ・二日目

- ・朝食は民泊先で
- ・浜中町「酪農祭」に参加  
廃校になった学校のグラウンド又は放牧地を使って行う(JA(青年部など)主催)
- ・地区対抗戦のため民泊先の家庭と同じチームに加わり、他の酪農家との交流もする

### ○内容

- ・酪農に関わる競技 牧草ロール転がし、長靴飛ばし、牛乳早飲みなど
- ・BBQや女性部による販売など(チーズ、シカ肉も販売)
- ・民泊先に戻り作業を手伝う

## 夏の民泊ツアー内容



- ・三日目
- ・朝食は民泊先で
- ・JAに集合し酪農家さんたちのお別れ
- ・チーズ作り体験か鹿肉の解体見学に希望者ごとに分かれそれぞれの場所へ移動
- ・アンケートをとり今後の改善につなげる
- ・浜中町とお別れ



## 民泊ツアーで期待できるもの

### ①民泊、酪農体験

- ・日常生活では中々体験できないことができる。
- ・普通の観光では感じ取ることのできない大自然の良さや浜中町の酪農業の良さに気付くことができる。

### ②「酪農祭」への参加

- ・地域の行事に参加することによって、民泊先以外の酪農家との関係も築くことができ、より交流が深まる。

### ③チーズ作り・鹿肉解体

- ・浜中町の食に更に深く触れ、酪農以外の職にも触れてもらう。

## 民泊ツアーで期待できるもの

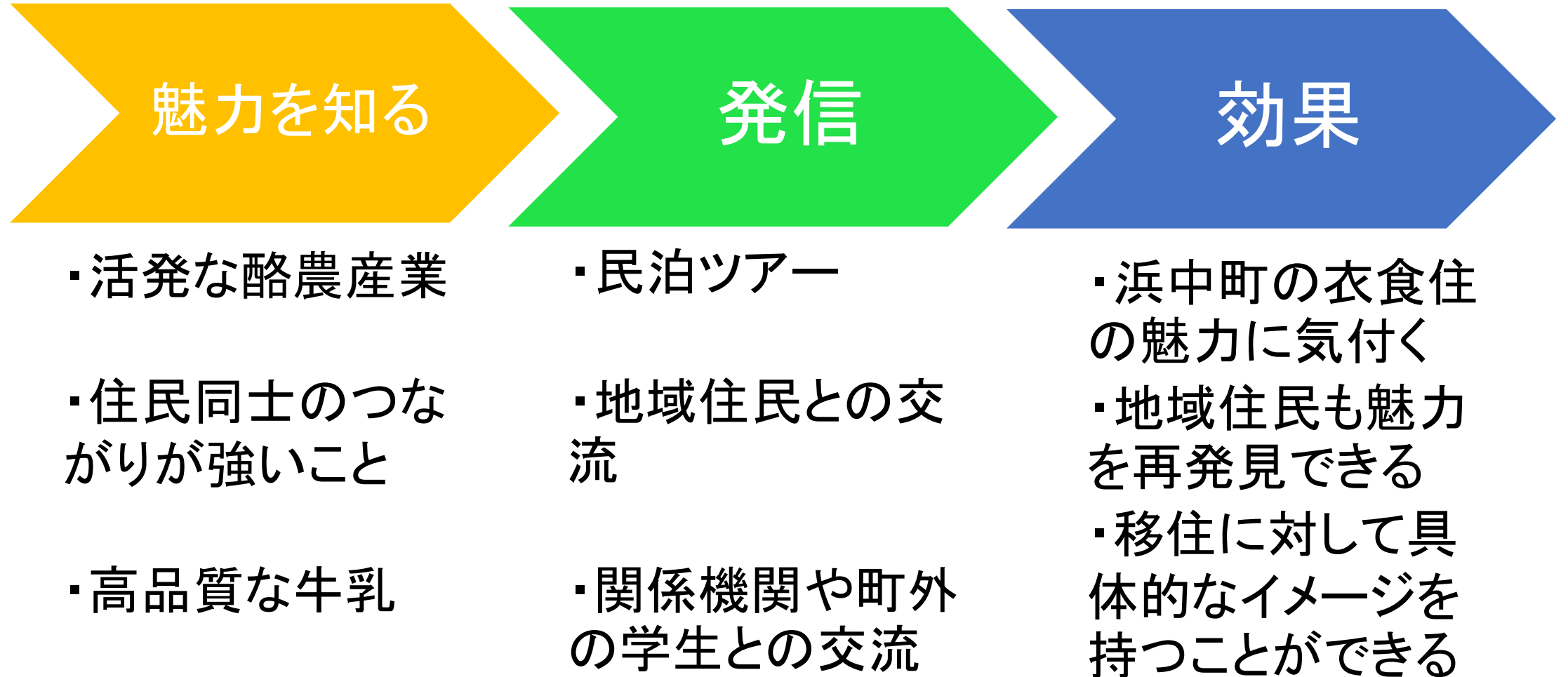
### ④新規就農者との交流

・ツアーの中で関わる酪農家さんも移住者が多いため、経験談等を聞くことができ、移住の具体的なイメージを持つことができる。

### ⑤ナショナルトラストを介した自然体験

・自然保護活動をおこなっているナショナルトラストの方々と一緒に、湿原などの浜中町の自然について知ることができる。

# 研究のフローチャート



浜中町の住民



自分の仕事に誇りを持てる



将来も続けたい

外から来た人たち



様々な体験活動を通して  
浜中町に興味を持つ



また浜中町に来たい

# 魅力の再発見！

- ・酪農家さんたちの刺激になる。
- ・浜中町の魅力に地域住民も外部の方も気づくことができる。
- ・浜中町への移住を考えるきっかけになる。

# 今後の研究の課題

- ターゲットの絞り込み
- 雇用の創出
- 道の駅などの集客を見込める施設の充実  
(廃校舎の有効活用)
- ツアーのPRの方法の工夫
- 受け入れ側と参加する学生の持続的な確保



# 参考文献、資料

『ようこそ！酪農王国「浜中町」へ』

浜中町農業協同組合・(有)浜中町就農者研修牧場・浜中町役場・(有)浜中町酪農ヘルパー組合

『活力有る農業村と地域社会の協働』

浜中町農業協同組合

里山資本主義—日本経済は「安心の原理で動く」

藻谷浩介

# 謝辞

お忙しい中、調査に当たり協力していただいた

- ・NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストの皆さま
- ・浜中町の酪農家の皆さま
- ・(有)浜中町農業研修牧場の皆さま
- ・浜中町農業協同組合の皆さま
- ・その他関係各位の皆さま

に厚く御礼申し上げます

ご清聴ありがとうございました。